

いばらブランドの育成・PR

稼ぐ地域をつくとともに、安心して働けるまちをつくる！



地場産業であり、世界のハイブランドからも高い評価を得ている井原デニムをはじめ、特産品である葡萄や明治ごんぼうなど、品質のさらなる向上によりブランド化を図るとともに、異業種連携プラットフォームを構築し、企業の異業種連携による新製品等の開発から販路の確保までを一貫して支援することで、攻めの経営を後押しし、稼ぐ力の向上と安心して働けるまちづくりに取り組みます。

寄附活用事業の概要

令和7年度事業費 16,350千円

★ 井原デニムによる地域活性化事業 1,950千円

綿の種を無料で配布し、各家庭で綿花栽培に取り組んでもらい、市内の事業者や県立井原高等学校の生徒、ボランティアが、収穫した綿で井原ハートフルデニムバッグを製作。毎年、市内の小学校へ入学する子供たちにお祝いとしてプレゼントしています。また、井原デニムを活用した体験型のイベントを開催するなど、地域活性化に取り組みます。

★ いばら農産物産地化支援事業 4,400千円

冬ぶどうをはじめ、明治ごんぼう、薬用作物の産地確立に向けて取り組む団体やワイン産業・農産物の6次化に取り組む事業者に対して補助金を交付し、その取り組みを後押しするとともに、農業後継者の就業を支援することで農業の担い手の確保と育成を図ります。

★ 産業支援・異業種連携促進事業 10,000千円

企業が持つ事業計画や成長戦略を、スピード感を持って具現化する等の後押しを行うとともに、企業が業界を超えて連携する「異業種連携プラットフォーム」を構築し、異業種連携による新商品等の開発から販路の確保までを一貫して支援することで、本市の産業集積や成長発展を促進します。